

ふれあいあいさつ運動（有帆小学校・高千帆中学校）

「こうちょうせんせーえ、おはようございまあす」
正門から離れた通学路から低学年の声が聞こえます。
高千帆中学校区では、学期に1回各学校でふれあいあいさつ運動が行われています。有帆小学校を卒業した高千帆中学校の生徒と地域の方々、委員会の小学6年生が登校班を迎えます。以前、集団下校の会でよくあいさつができていた登校班が実演したところ、児童のあいさつに対する意識が高まり、登校時のあいさつがよくなりました。今後は、学校内だけでなく地域の人へ先にあいさつする児童が増えることが望まれます。



6年生を送る会（須恵小学校）

新型コロナウイルス感染症のため3年ぶりの開催となった6年生を送る会が、須恵小学校で行われました。花のアーチをくぐって入場した6年生は、学年ごとの呼びかけや歌、ダンスなどの発表を楽しんでいました。1年生が、読み聞かせや縦割り掃除、初めてのプールなど、いつもそばにいてくれてありがとうというメッセージを伝えると、しみりとうなずく6年生も見られました。今後も、6年生が後輩の感謝の気持ちを忘れずに、中学生になっても周りの人たちに気を配り、元気に学校生活を送ることができるよう願っています。



ひなまつりの集い（埴生幼稚園）

埴生幼稚園では、季節に合わせた行事を通して、園児が古くから伝わる慣習に触れ人と関わる力や思いやりの心を育てる教育が行われています。この日は、園児が手作りのお雛様とお内裏様を見せて、「指で絵の具をぺったんぺったんして模様をつけたよ」「折り紙を貼るところがむずかしかった」と教えてくれました。また、先生からひな祭りの由来や人形の役目などの説明を聞いているときは、全員がじっと集中し、知っている言葉にうなずいていました。『うれしいひなまつり』を歌っている様子がとても微笑ましく思えました。

